

株式会社トスネット

2024年9月期決算説明資料



TOSNET



東京証券取引所
スタンダード市場
(4754)



I トスネットグループの概要		P3
(1) 株式会社トスネットの概要	P4	(2) トスネットグループの事業セグメント P6
II 警備業界の現状と課題		P7
(1) 警備業者等の状況	P8	(5) 警備員の年齢別・男女別状況 P10
(2) 警備員の状況	P8	(6) 警備業者の警備員数別状況 P10
(3) 警備員の雇用別・男女別状況	P9	(7) 警備業者の営業所の数別状況 P11
(4) 警備員総数に対しての女性警備員比率	P9	(8) 売上高 P11
III トスネットグループの主な取組み		P12
(1) トスネットグループの主な取組み(研修)	P13	(3) トスネットグループの主な取組み(社会貢献) P19
(2) 同上 (警備)	P16	(4) トスネットグループの主な取組み(トピックス) P22
IV 2024年9月期／連結決算の概要		P23
(1) 連結損益計算書の概要	P24	(6) 連結キャッシュ・フローの概要 P32
(2) 連結損益計算書…収支の要因	P25	(7) 配当の状況(配当額及び連結配当性向) P33
(3) 連結セグメント別売上の概要	P27	(8) 配当の状況(連結株価収益率(PER)の推移) P34
(4) 連結貸借対照表の概要	P28	(9) 2025年9月期業績予想 P35
(5) 連結貸借対照表…主な増減の要因	P29	
V 「中期経営計画・VISION for 50の概要		P36
(1) 計画・VISION for 50の概要	P37	(3) 連結業績目標 P39
(2) ESG課題への取組み	P38	

トスネットグループの概要

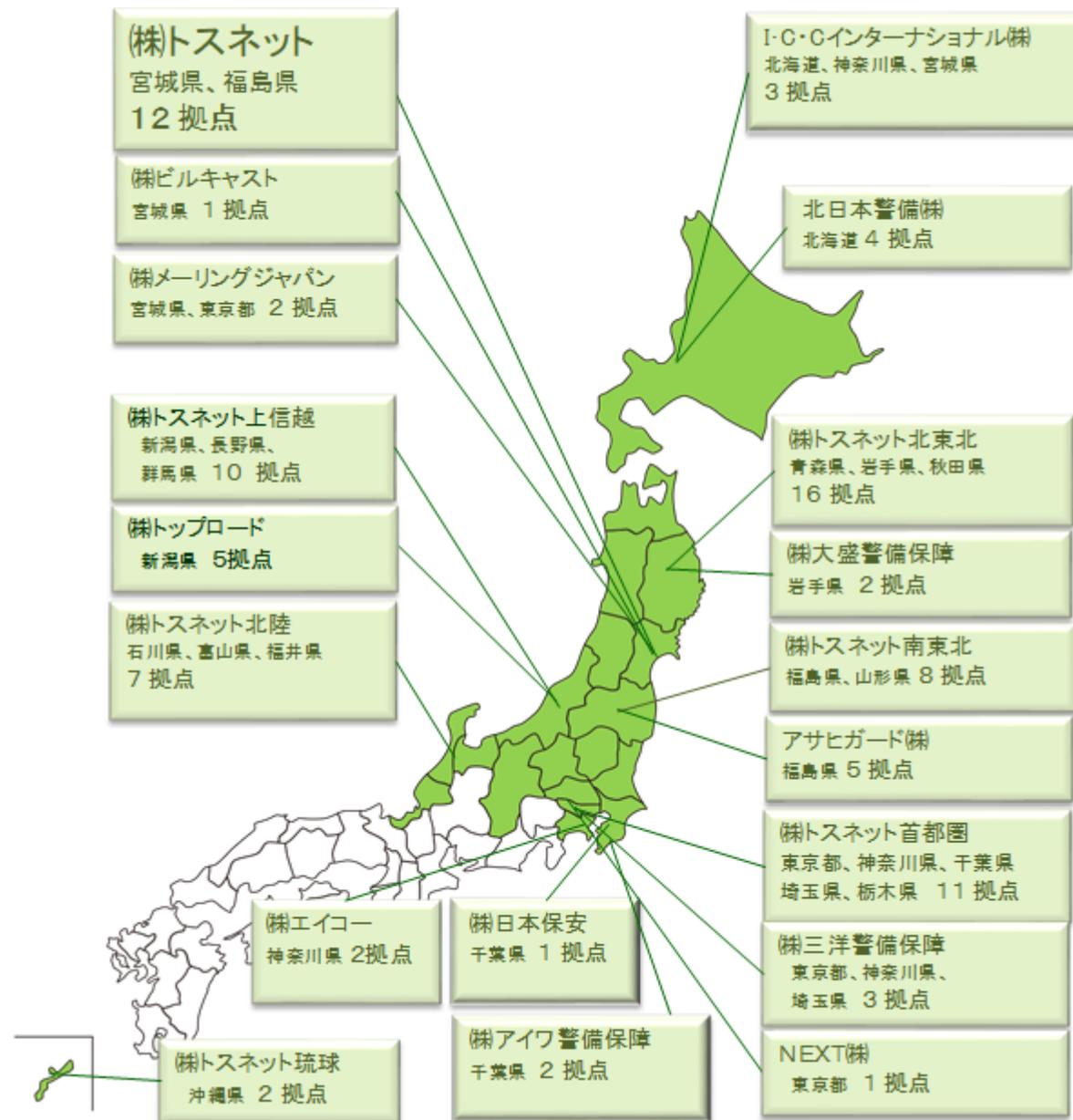
(1) 株式会社トスネットの概要

商号	株式会社トスネット
設立	1977年3月
代表取締役 社長	氏家 仁
所在地	仙台市宮城野区 宮城野一丁目10番1号
資本金	7億8,293万円
主たる事業	交通誘導警備 施設警備
決算期	9月末
社員数	402名

業務協力 会社	セコム株式会社
業務提携	ジオサーチ株式会社 株式会社アジラ
加盟団体	全国警備業協会 (理事 氏家 仁) 東北地区警備業協会連合会 (会長 氏家 仁) 宮城県警備業協会 (会長 氏家 仁) 福島県警備業協会 仙台市東地区警備業防犯協力会 (会長 氏家 仁) 仙台東地区企業防犯連絡協議会 (会長 氏家 仁)
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場
社訓	誠実、感謝、奉仕

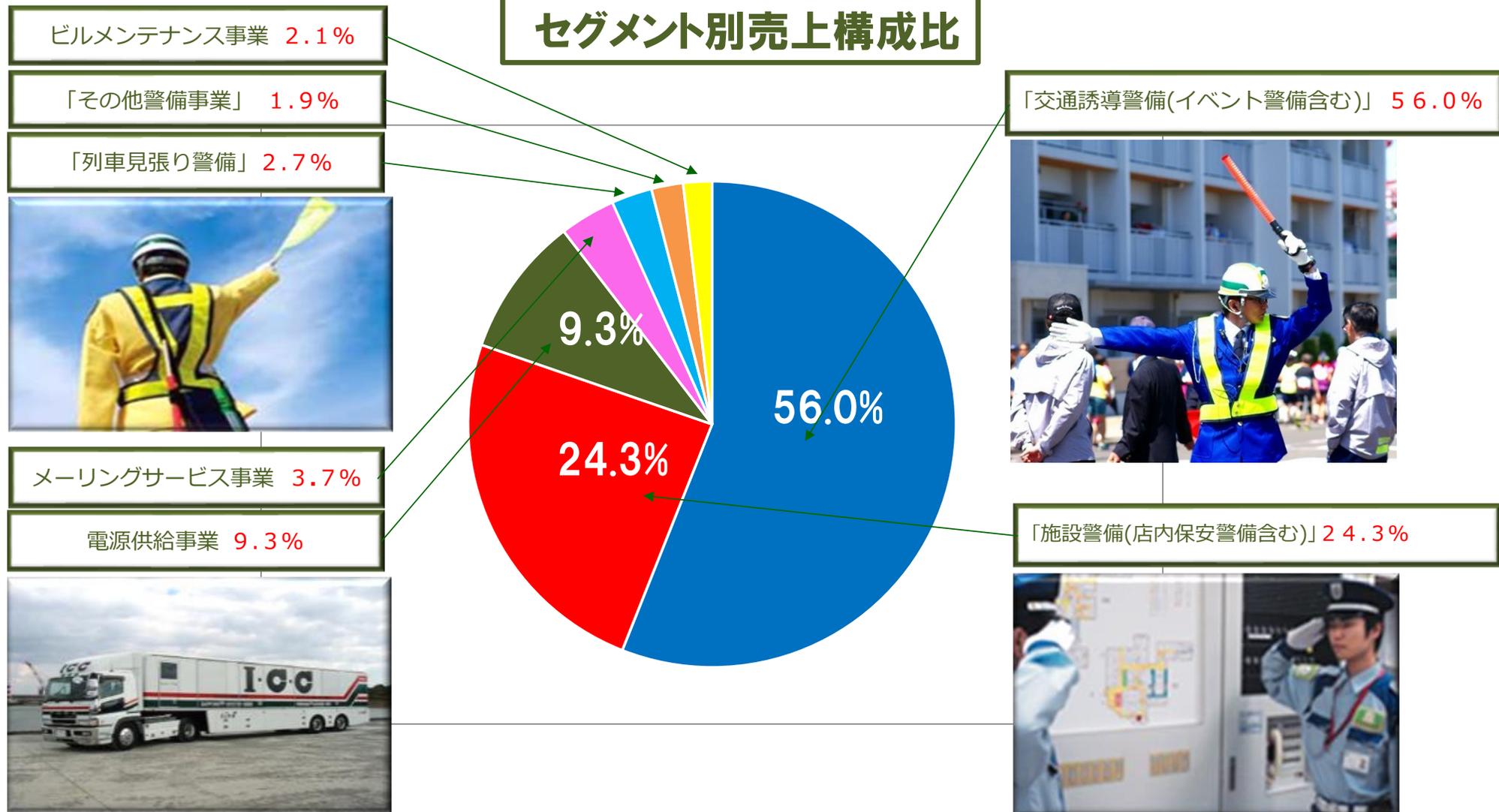
トスネットグループ19社

- 1都1道18県
97拠点
- 総人員3,400名
- 警備事業16社
警備員3,202名
- シナジー3事業
現場職198名



(2) トスネットグループの事業セグメント

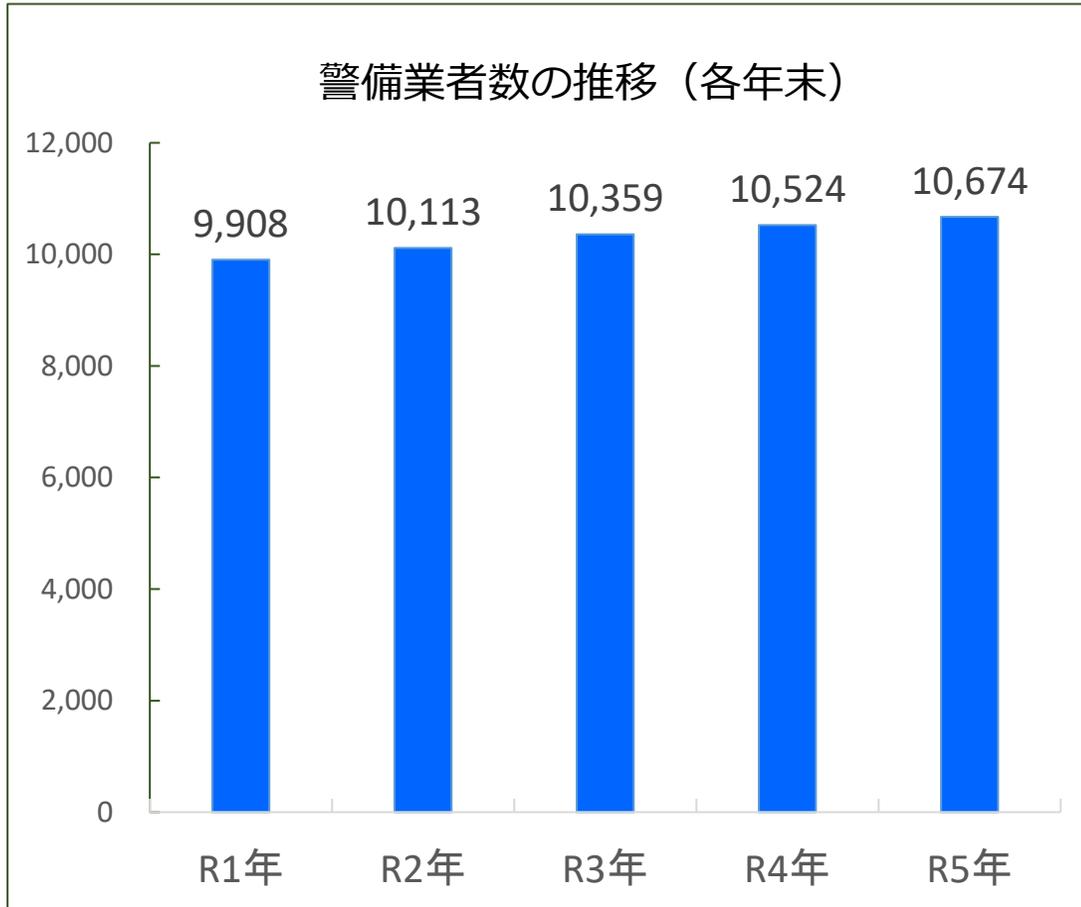
警備事業(84.9%) + 付加価値(シナジー)創出3事業(15.1%)



II 警備業界の現状と課題

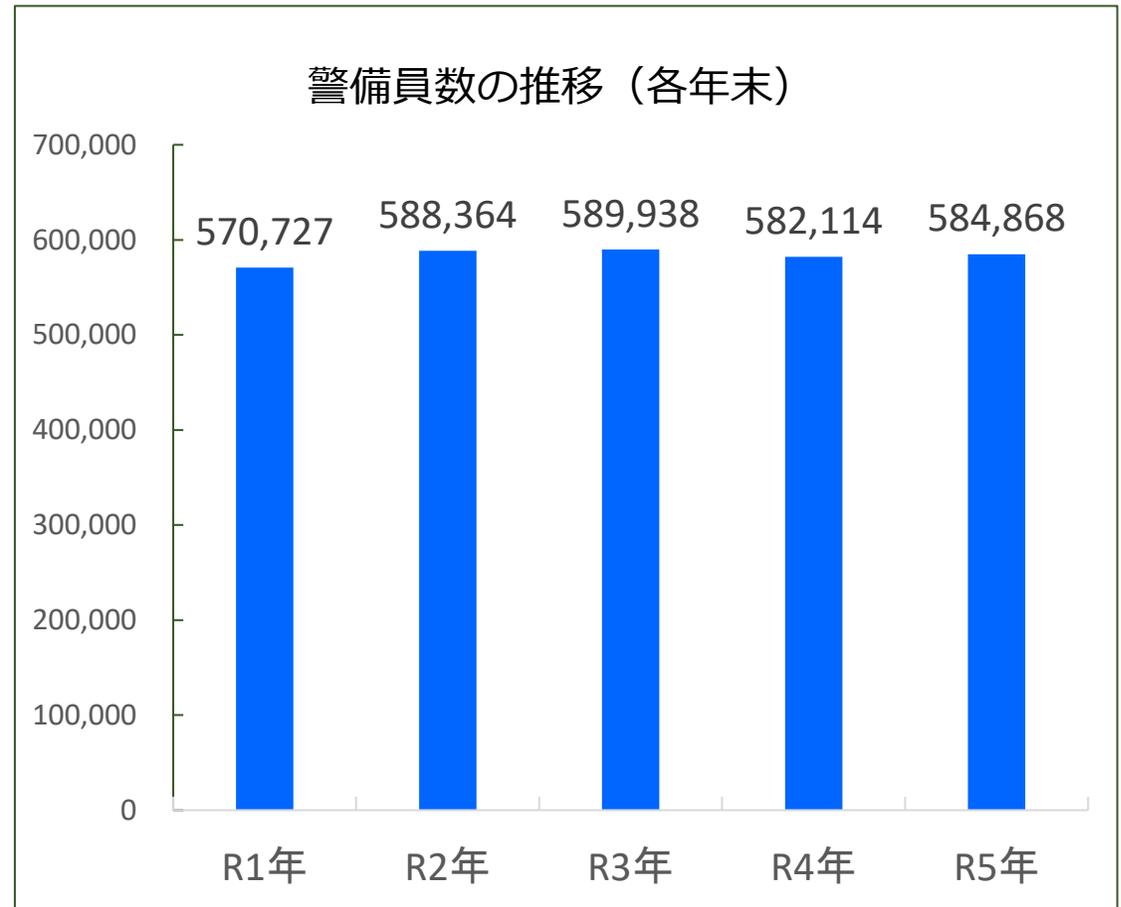
警察庁生活安全局生活安全企画課統計から抜粋（令和5年12月末現在）

(1) 警備業者等の状況



前年より150業者（1.4%）増加

(2) 警備員の状況



前年より2,754人（0.5%）増加

(3) 警備員の雇用別・男女別状況

	警備員総数	常用警備員	臨時警備員	臨時警備員の割合(%)
警備員数(人)	584,868	534,983	49,885	8.5%
男性警備員(人)	543,893	500,531	43,362	8.0%
女性警備員(人)	40,975	34,452	6,523	15.9%
女性警備員の割合(%)	7.0%	6.4%	13.1%	—

(4) 警備員総数に対しての女性警備員比率

	R1	R2	R3	R4	R5
女性警備員数	36,973人	39,532人	39,812人	39,371人	40,975
女性警備員比率	6.5%	6.7%	6.7%	6.8%	7.0%

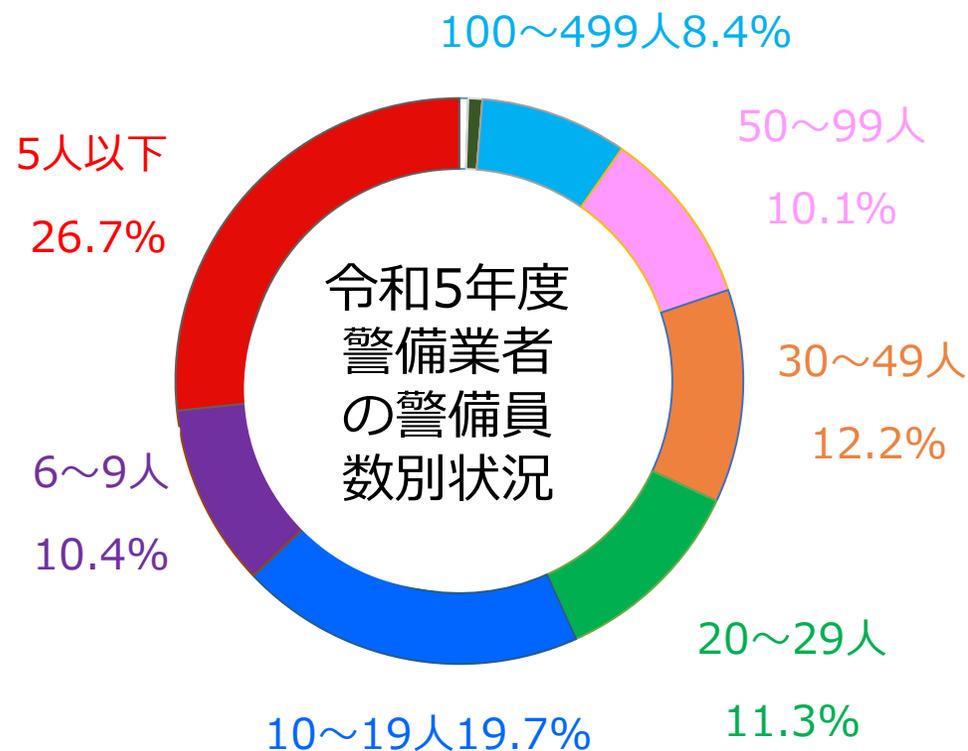
前年より0.2%増加、女性警備員の需要の上昇。

(5) 警備員の年齢別・男女別状況

	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
警備員数(人)	59,725	54,496	83,036	116,052	74,825	79,323	117,411
構成比(%)	10.2%	9.3%	14.2%	19.8%	12.8%	13.6%	20.1%
男性警備員(人)	48,736	49,270	76,289	107,282	70,998	76,692	114,626
女性警備員(人)	10,989	5,226	6,747	8,770	3,827	2,613	2,785
女性警備員の割合(%)	18.4%	9.6%	8.1%	7.6%	5.1%	3.3%	2.4%

(6) 警備業者の警備員数別状況

警備員数	警備業者数	構成比
1,000人以上	50	0.5%
500～999人	83	0.8%
100～499人	892	8.4%
50～99人	1,083	10.1%
30～49人	1,300	12.2%
20～29人	1,201	11.3%
10～19人	2,106	19.7%
6～9人	1,113	10.4%
5人以下	2,846	26.7%

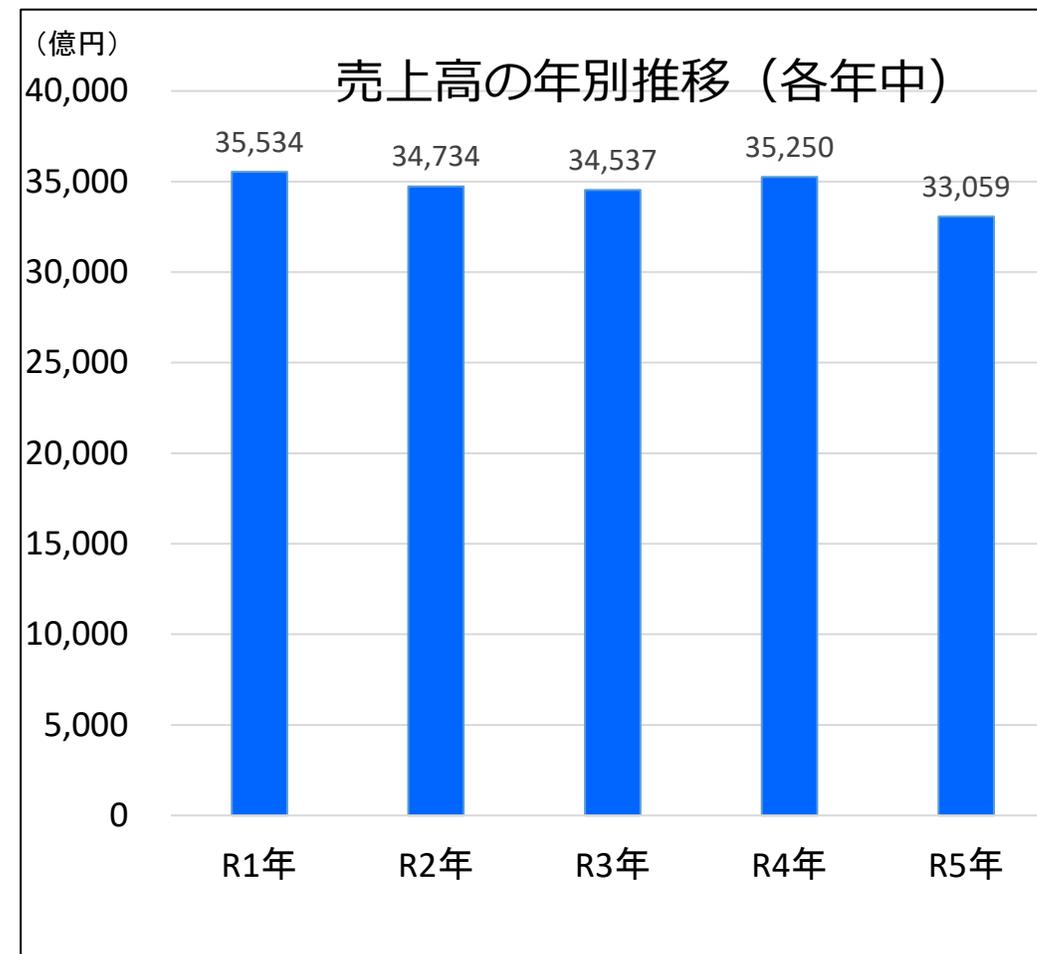


(7) 警備業者の営業所の数別状況

営業所数	警備業者数	構成比
30営業所以上	18	0.2%
20～29営業所	11	0.1%
10～19営業所	71	0.7%
6～9営業所	168	1.6%
5営業所	75	0.7%
4営業所	135	1.3%
3営業所	299	2.8%
2営業所	898	8.4%
1営業所	8,991	84.2%
不明	8	0.1%

1 営業所の警備業者が84.2%

(8) 売上高



R5年は調査方法の変更により6,340業者の回答に留まる

Ⅲ トスネットグループの主な取組み

(1) トスネットグループの主な取組み(研修)

訓練実施「より質の高い警備を目指して」



実施日 年に数回実施
名称 ロードスタッフ訓練
場所 スポーツランド菅生西駐車場、他

道路規制車両・警備員・保安用資機材の設置と撤去を一体としたロードスタッフの訓練

訓練実施「より質の高い警備を目指して」



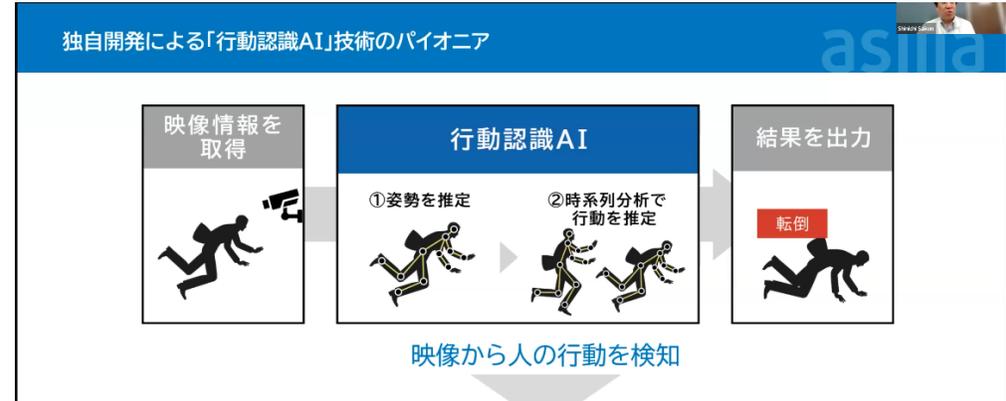
実施日 年に2回実施（一泊二日）
名称 トスネットグループ選抜者研修
場所 トスネット研修センター・元気荘

施設警備に関する訓練を中心に、トスネットグループの選抜者による実践的な訓練を実施しました。

管理職研修



営業・労務管理研修



新技術研修会（AI・ロボット等）
リモート会議形式によりグループ全体で実施

ビックイベント「人員力を武器にグループで対応」



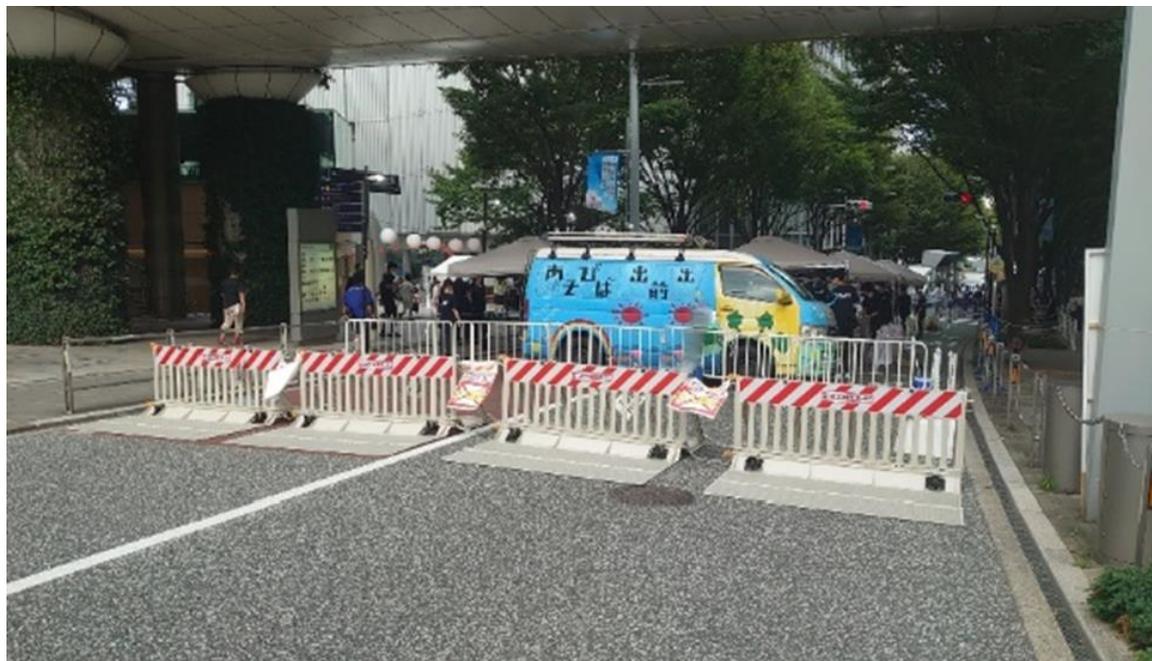
実施日 2024年5月12日
イベント 仙台国際ハーフマラソン2024



実施日 2024年10月27日
イベント 第42回全日本大学女子駅伝対校選手権大会

テロ対策用資器材の提供

テロ対策用車両突入防止バリケード「ヘラクレス」



東京都内イベントでの道路封鎖



モータースポーツにおける
車両バリケード

国際競技でも「警備の実績」



実施日 2021年7月～9月

イベント 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の会場警備を担当

被災地にも「警備で貢献」



「珠洲に恩返し」元署長、現場立つ 金沢の警備会社勤務の中嶋さん
北國新聞 2024年5月8日(水)

(抜粋)

元珠洲署長の中嶋道行さん(66)＝金沢市＝が、地震発生後から珠洲市内の工事現場に赴き、交通誘導員として働いている。退職後、金沢の警備会社で管理職を務めていたが、各地で復旧工事が進められ、誘導員は慢性的な人手不足の状態。「工事進捗の足を引っ張ってはいけない」と現場勤務を志願した。署長時代から住民に慕われた中嶋さんは「大好きな珠洲に恩返ししたい」と路上に立つ。

中嶋さんは2014年3月から2年間、珠洲署長を務めた。県警人材育成課長などを経て、20年3月に警察官を退職。22年に金沢市の警備会社「トスネット北陸」へ再就職、警備部長に就いていた。

(3) トスネットグループの主な取組み(社会貢献)

社会貢献活動「命を守る講習会」

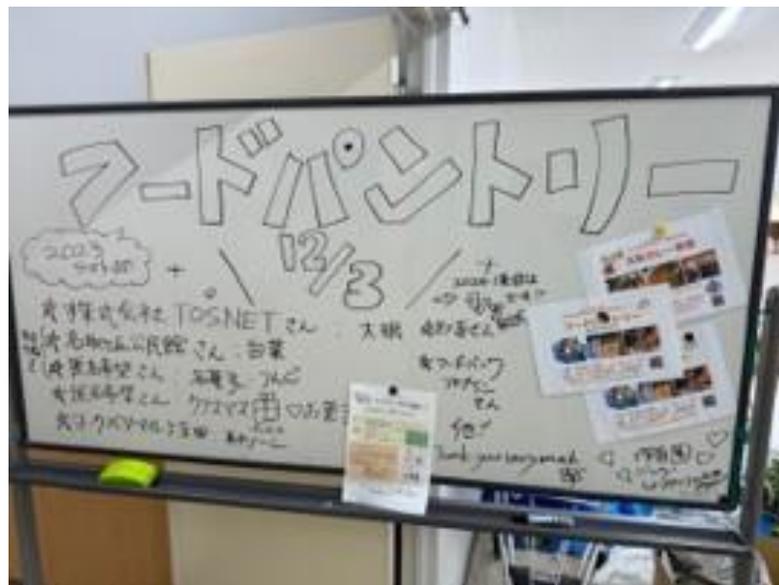


1. 開催日 2023年10月10日
2. 場所 株式会社T T K様
3. 内容 AEDを使用した心肺蘇生法の救命講習会



1. 開催日 2023年8月22日
2. 場所 学校法人仁愛学園認定こども園葵幼稚園(千葉市)
3. 内容 当社のオリジナル刺又(あしどめくん)を使用した防犯訓練講習

社会貢献活動「食材の提供」



当社が育てた大根を、
宮城県内の「こども食堂」「フードパントリー（食に困ったときに無償で食の支援を受けられる場）」に
寄贈しました。
毎月寄付を行っている施設もあります。

(4) トスネットグループの主な取組み(トピックス)

トピックス

1. 株式会社アイワ警備保障の子会社化 (2024年4月)
千葉県を中心に施設警備業務等を展開しています。
2. 株式会社アジラとの業務提携 (2024年4月)
警備業務にA I 技術を融合させることを目的とし、業務提携を行い次世代のセキュリティシステムを構築し、顧客への新たなサービスを提供していきます。
3. N E X T 株式会社の子会社化 (2024年5月)
東京都の多摩地区を中心に交通誘導警備業務等を展開しています。
4. 宮城県発行「サステナビリティボンド」への投資 (2024年8月)
サステナビリティボンドは、調達資金が環境問題の解決に資するグリーンプロジェクト（海洋保護や持続可能な漁業等に資するブループロジェクトを含む）及び社会課題の解決に資するソーシャルプロジェクトの双方に充当される債券です。
5. C O 2 排出ゼロの電源車「エレクトリシティ コミューター」提供開始 (2024年9月)
環境に配慮した二酸化炭素排出ゼロの移動電源車です。
大型リチウムイオンバッテリーとソーラーパネルを搭載しています。



IV 2024年9月期／連結決算の概要

(1) 連結損益計算書の概要

(単位：百万円)

項目	2023年9月期	2024年9月期	前期比	2024年9月期 予想	予想比
売上高	10,937	11,559	622	11,500	59
営業利益	797	817	20	830	△12
経常利益	893	901	7	930	△28
親会社株主に帰属 する当期純利益	576	891	314	600	291

(2) 連結損益計算書…収支の要因

売上高	前期比105.7%(622百万)の増収
【増収要因】	電源供給事業…前期比(110.3%=100百万円増収)
	① 電源供給事業は、イベント、コンサートなどが再開された結果、前期比110.3%の増収。 ② 警備事業は、イベント、コンサートなどが再開された結果、前期比105.5%の増収。
営業利益	前期比102.5%(20百万円)の増益
【増益要因】	警備事業の積極的な営業活動による受注単価のアップ等により、営業利益は20百万円の増益。
経常利益	前期比100.8%(7百万円)の増益
【増益要因】	同上
親会社株主に帰属する当期純利益	前期比154.6%(314百万円)の増益
【増益要因】	当社取締役が逝去したことに伴い支払いを受けた保険金に関する特別利益548百万円を計上したことにより、314百万円の増益。

連結売上高・営業利益の推移



(3) 連結セグメント別売上の概要

(単位：百万円)

項目	2023年9月期	構成比	2024年9月期	構成比	増減
交通誘導警備	6,045	55.3%	6,474	56.0%	428
施設警備	2,639	24.1	2,806	24.3%	166
列車見張警備	292	2.7%	306	2.7%	13
その他警備事業	319	2.9%	221	1.9%	△97
警備事業計	9,296	85.0%	9,808	84.9%	511
ビルメンテナンス事業	228	2.1%	242	2.1%	14
メーリングサービス事業	435	4.0%	431	3.7%	△3
電源供給事業	976	8.9%	1,077	9.3%	100
その他事業計	1,640	15.0%	1,751	15.1%	111
連結売上合計	10,937	100.0%	11,559	100.0%	622

(4) 連結貸借対照表の概要

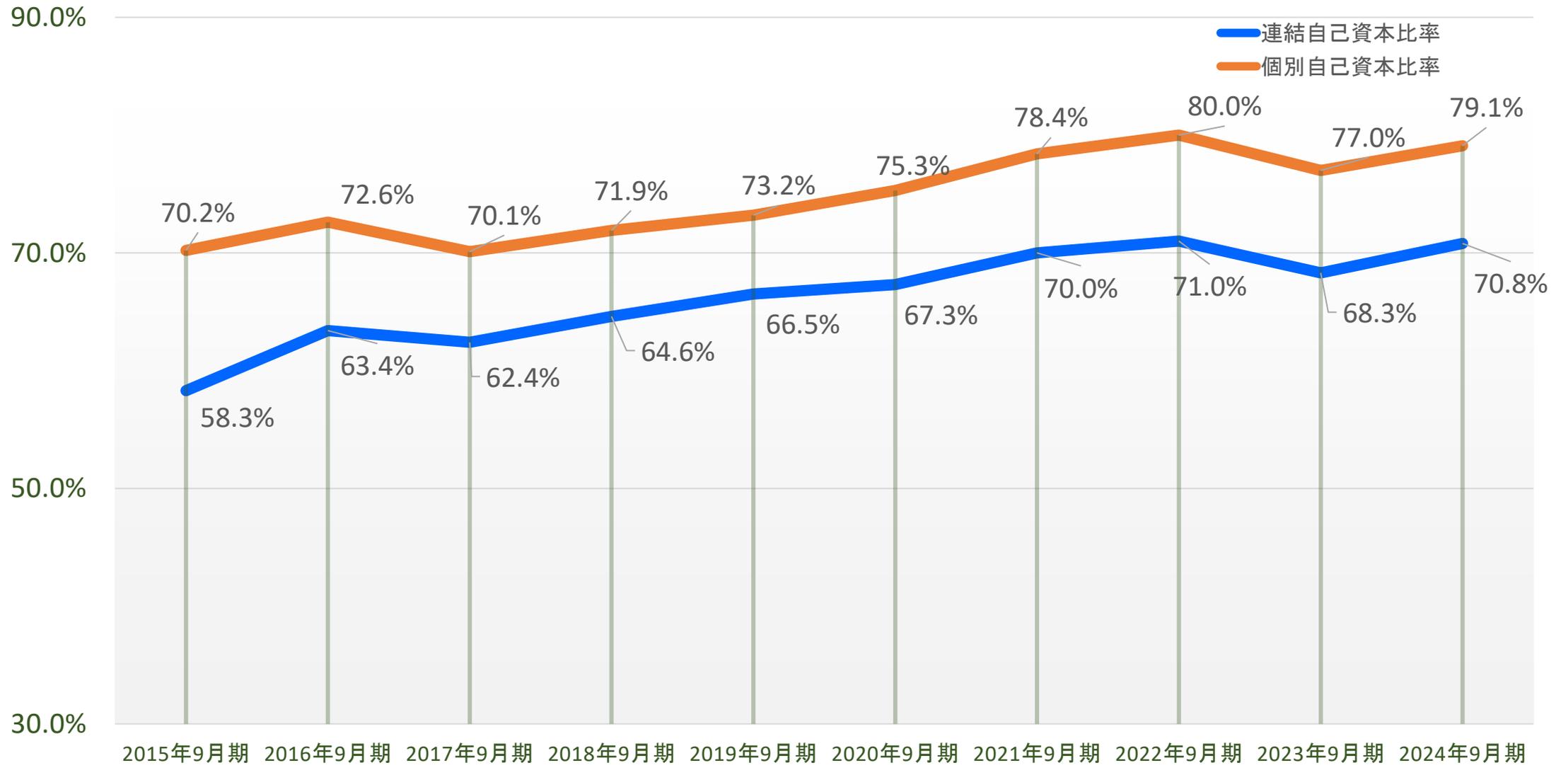
(単位:百万円)

(資産の部)	2023年9月期 期末	2024年9月期 期末	増減	(負債・純資産 の部)	2023年9月期 期末	2024年9月期 期末	増減
現金及び預金	5,421	5,797	376	短期借入金	500	400	△100
受取手形及び 売掛金	422	463	41	一年以内返済予定の 長期借入金	144	101	△42
警備未収入金	1,114	1,141	31	未払費用	708	690	△17
その他流動資産	249	191	△57	その他流動負債	990	1,194	203
流動資産計	7,207	7,594	386	流動負債計	2,343	2,386	42
有形固定資産	2,220	2,335	115	長期借入金	498	392	△105
無形固定資産	260	316	55	その他固定負債	505	484	△20
投資その他資産	861	944	82	固定負債計	1,003	877	△126
固定資産計	3,343	3,596	253	負債合計	3,347	3,263	△83
				純資産計	7,203	7,927	723
資産合計	10,551	11,190	639	負債・純資産合計	10,551	11,190	639

(5) 連結貸借対照表…主な増減の要因

資産の部	前連結会計年度末比639百万円の増加
	<p>2024年9月期末の資産の部は11,190百万円となり、前連結会計年度末と比べ639百万円増加しました。この主な増加要因は、有形固定資産のリース資産が39百万円減少したものの、現金及び預金が376百万円、機械装置及び運搬具が126百万円、のれんが58百万円増加したこと等によるものです。</p>
負債の部	前連結会計年度末比83百万円の減少
	<p>2024年9月期末の負債の部は3,263百万円となり、前連結会計年度末と比べ83百万円減少しました。この主な減少要因は、未払法人税等が172百万円増加したものの、短期借入金が100百万円、1年以内返済予定の長期借入金が42百万円、長期借入金が105万円減少したこと等によるものです。</p>
純資産の部	前連結会計年度末比723百万円の増加
	<p>2024年9月期末の純資産の部は7,927百万円となり、前連結会計年度末と比べ723百万円増加しました。この主な増加要因は、株主に対して155百万円の配当金の支払いがありましたが、親会社株主に帰属する当期純利益として891百万円計上したことにより利益剰余金が749百万円増加したこと等によるものです。</p>

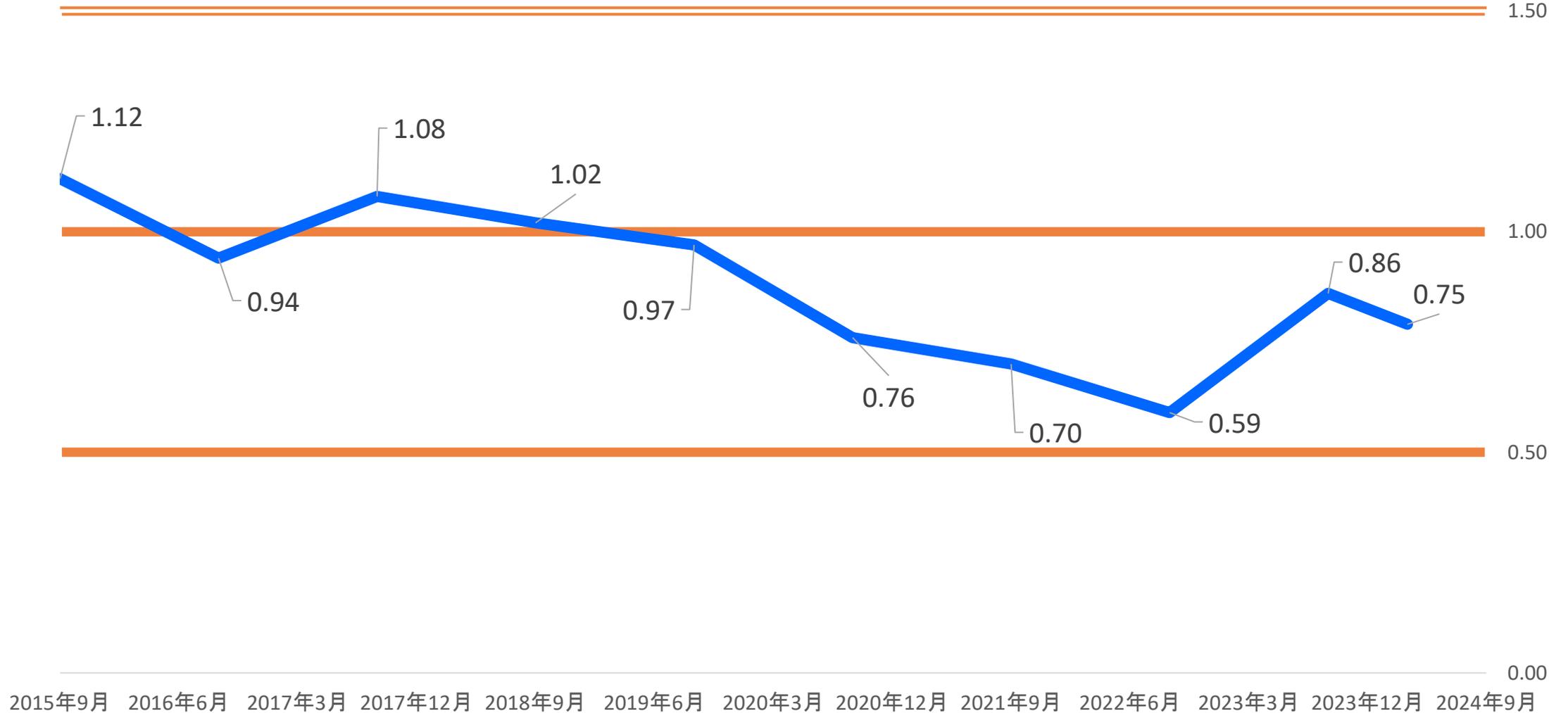
自己資本比率の推移



連結株価純資産倍率(PBR)の推移

(倍)

— 株価純資産倍率 (倍)

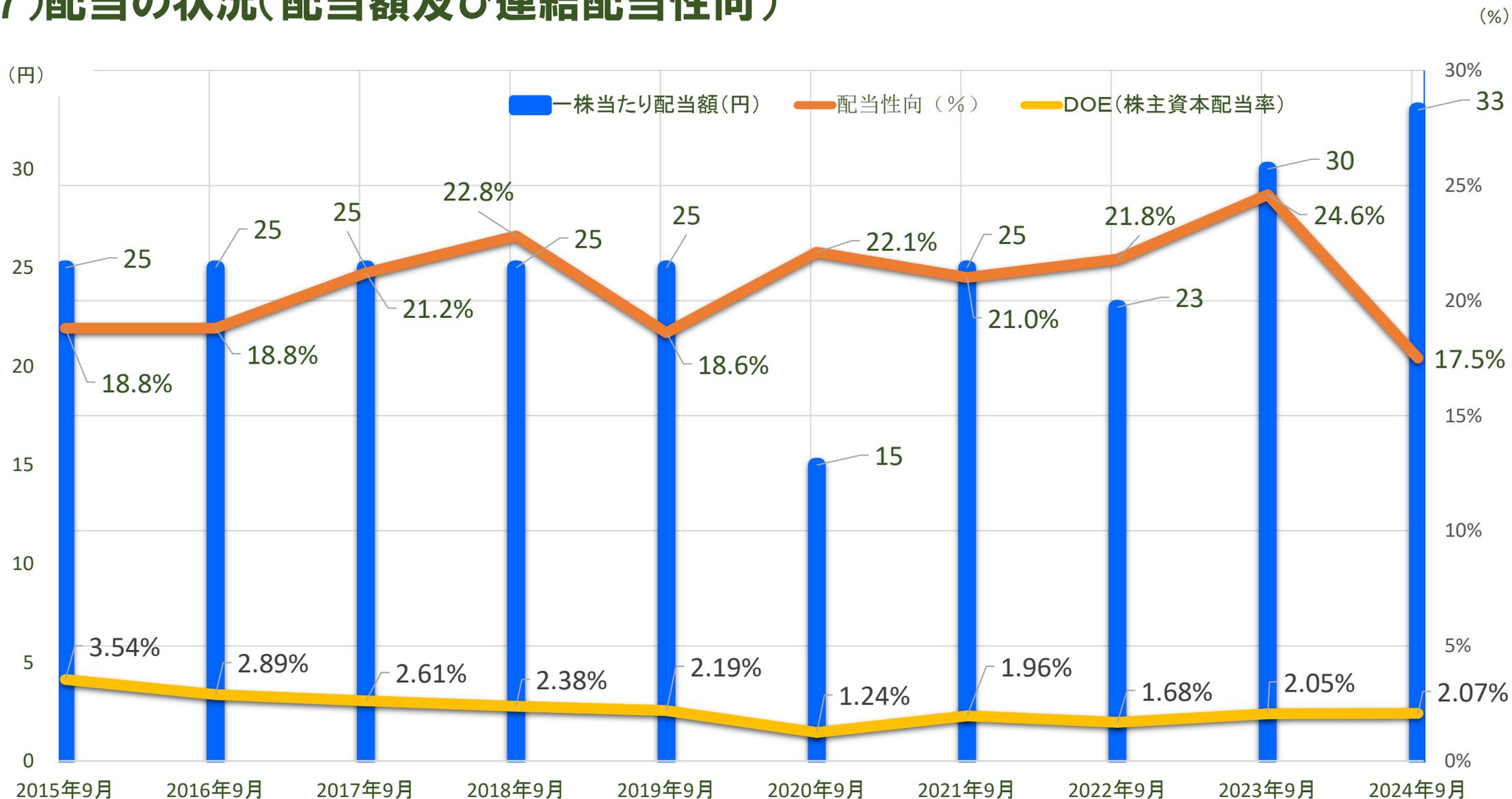


(6) 連結キャッシュ・フローの概要

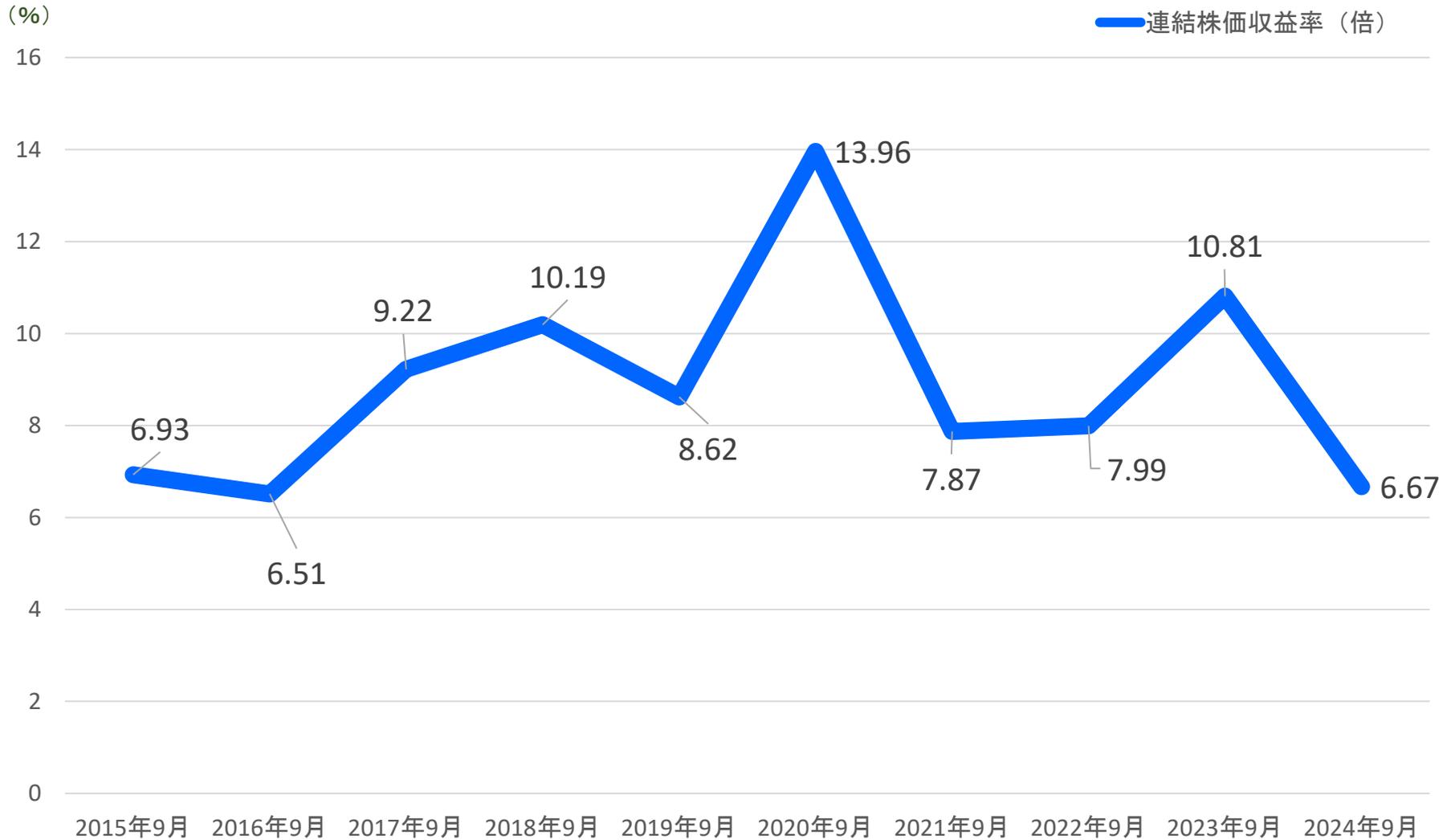
(単位:百万円)

	2024年9月期	キャッシュ・フローの要因
営業活動による キャッシュ・フロー	1,060	この主な要因は、預り金の減少68百万円、未払金の減少66百万円があったものの、税金等調整前当期純利益1,429百万円、減価償却費137百万円があったこと等によるものであります。
投資活動による キャッシュ・フロー	△273	この主な要因は、保険積立金の解約による収入20百万円があったものの、定期預金の預入による支出100百万円、有形固定資産の取得による支出98百万円があったこと等によるものです。
財務活動による キャッシュ・フロー	△510	この主な要因は、長期借入れによる収入830百万円があったものの、長期借入金の返済による支出1,001百万円、配当金の支払額139百万円があったこと等によるものです。
現金及び現金 同等物の増加	276	この結果、現金及び現金同等物が前連結会計年度末と比較して276百万円増加し、5,697百万円となりました。

(7) 配当の状況(配当額及び連結配当性向)



(8) 配当の状況(連結株価収益率(PER)の推移)



(9) 2025年9月期業績予想

(%表示は、通期は対前期増減率)

連結	第2四半期(累計)		通期	
売上高	5,750百万円	4.0%	11,900百万円	2.9%
営業利益	380百万円	10.8%	825百万円	0.9%
経常利益	410百万円	5.1%	910百万円	1.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	280百万円	20.1%	620百万円	△30.5%

個別	第2四半期(累計)		通期	
売上高	630百万円	7.3%	1,250百万円	1.9%
経常利益	430百万円	△2.1%	465百万円	1.7%
当期純利益	380百万円	△10.2%	400百万円	△49.4%

V 中期経営計画・VISION for 50の概要

(策定の背景)

この計画は、当社が創業50周年を迎える2027年3月30日までの6年間で、その後の継続的成長を確実にするための重要な期間と捉え、コア事業のさらなるパワーアップと、それを支える強固な事業基盤の構築を成し遂げるための前期3年間で終了し、引き続き、2024年9月期～2026年9月期の後期3年間の初年度が終了しました。引き続き、Step.2の連結業績目標に向け、グループ会社一丸となって推進してまいります。

社会環境の持続可能性（サステナビリティ）を巡る課題に対しても取り組みを続けてまいります。計画のキーワードは、「Innovation（イノベーション）＝革新」です。

(1) 計画・VISION for 50の概要

計画のキーワード:「Innovation(イノベーション)=革新」

「創業50周年」(2027年3月)のあるべき姿・・・高い「持続可能性」と高い「生産性」、そして「活力」に溢れた企業集団

最重要施策 システム革新=【DX(デジタルトランスフォーメーション)】へ取り組み

成

長

戦

略

生産性向上施策

持続可能性

「営業の革新」

営業フローのデジタル化

(営業フローの効率化による時間創出)

ソリューション(問題解決)型営業への進化
(デジタル技術を駆使したソリューション営業を展開)

新たな「事業機会」、新たな「事業領域」を創造
(警備業務におけるデジタル技術の活用を推進)

積極的なM&A

積極的なエリア(拡大)戦略

ロードスタッフ業務拡大

「管理業務の革新」

管理業務のデジタル化

(フロントオフィスとバックオフィスの連携)

高付加価値業務への人材シフト
(管理業務の効率化による時間創出)

～生産性の高い人材育成、時代を担う人材育成～
(業務のデジタル化推進により、「社員を育てる時間」を創出)

人事制度の革新

ガバナンスの革新

ESG課題への取り組みスタート

～創業50周年に向けた構想～

(2) ESG課題への取組み

1. 当社「経営理念」、「経営戦略」との関係性が深い「ESG課題」を特定します。
2. 「ESG課題」を当社経営計画に盛り込み、対応計画を策定していきます。
3. 当社取締役会が主導して課題に取り組んでいきます。

<p>E (Environment) 環境</p>	<p>グループ内事業におけるDXの推進によるペーパーの削減、室温管理の徹底、不必要な電気の消灯、アイドリングストップ等、「小さな活動でもできるところから」をコンセプトに取り組んでおります。</p>
<p>S (Social) 社会</p>	<p>施設警備の教育訓練、AEDを使用した心肺蘇生法講習会、救急救命講習会の主催や、当社オリジナル「トスガードあしどめくん（オリジナル刺又）」を使用した防犯訓練等を通して、社会に「安心・安全」を提供する活動をこれまで以上に活発にしていきます。</p>
<p>G (Governance) 統治</p>	<p>全てのステークホルダーに評価を頂けるよう「実効性」と「透明性」の高いガバナンス体制を確立していきます。</p>

(3) 連結業績目標

	会計年度	売上高	営業利益	営業利益率	経常利益
Step1 (結果)	2021年9月期	9,918	742	7.48%	914
	2022年9月期	10,030	690	6.88%	804
	2023年9月期	10,937	797	7.28%	893
Step2 (初年度)	2024年9月期	11,559	817	7.07%	901
Step2 (目標)	2025年9月期	11,900	825	6.93%	910
	2026年9月期	12,300	850	6.91%	940

※本資料掲載事項全般に関するご注意

本資料に記載されております業績予想やその他戦略などに関する情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら実際には、通常では予測し得ないような特殊事情の発生などにより本資料の業績見通し等とは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と判断した情報については、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載事項のみに全面的に依拠してのご判断は、くれぐれもなされないようお願い申し上げます。

なお、いかなる目的であっても、本資料を複製または転送などをされませんようお願い申し上げます。

※本資料に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

株式会社トスネット／管理統轄本部 TEL 022-299-5761

※または、ホームページよりお問合せください。<https://www.tosnet.co.jp>



トスネットグループの「経営理念」

『「勝った負けた」、「損した得した」だけではなく、やっている仕事が「正しかったかどうか」、「今日よかった」とか「一年よかった」だけではなく、長期計画をもって事にあたろう』という考え。